



24日(金)の全体道徳では、学校に携帯電話の持ち込みがあったことから、「正義が通る集団」となるには、どう行動すればよいかを学年全体で考えました。

「正義がとおる集団」とは、正直者が馬鹿をみない、ばれなければ何をやってもいいという雰囲気をつくらない、嘘を許さない、優しい集団などがいえると思います。

授業後の皆さんが書いた感想文から、今回の出来事を知っていた人が5割近くもいることが分かりました。知っていて注意することや学校に伝えることができなかった意見として、

- ・注意をしたとき、嫌な顔をされたり嫌なことを言われたりするのが嫌だ、怖い。
- ・他のクラスのことだから関係ないと思った。
- ・先生に伝えたとき、「いい格好して」などと言われると思った。

などがありました。このことから、緑学年の現状は正義がとおる集団ではないことが伺い知れます。

今回のことは、普段の凡事徹底ができず「この程度でいいか」「自分がしなくても誰かがやってくれるからいいか」と、安易な考えが集団の中に蔓延したことも一つの原因と考えられます。

正義がとおる集団となるには、安心・安全が保障されていること、一人一人が所属意識をもつことが必要だと思います。

安心・安全の保障については、安心して意見を言える集団となっているかということです。例えば、授業中に間違った答えを発表した人を馬鹿にする雰囲気ではなく、温かく受け入れる雰囲気があるかということです。

所属意識については、昨年のワールドカップラグビーでは、日本代表チームがベスト8という素晴らしい結果を残しました。

「One Team」を掲げ「One for all All for one」と取り組んだからこそその結果だったと思います。

私たち緑学年も「One Team」です。

正義がとおる集団となるために、あなたは、あなたの何を変えていきますか。

